



新しく始まる赤ちゃんとの暮らしには、大きな喜びとほんの少しの心配があるかもしれません。家族や周囲の方の支援も必要です。市では子育て包括支援センターを設置し、常駐する赤ちゃんコンシェルジュが相談や家庭訪問を通じて、赤ちゃん和家人が健康やかに過ごせるようお手伝いをしています。

▶問い合わせ 保健センター ☎553-0053

私たちが全力でサポートします



赤ちゃんコンシェルジュの皆さん

ようこそ! 赤ちゃん 子育て包括 支援センター

予防接種

実施時期：生後2カ月から

小学生になるまでに受ける予防接種は8種類。接種方法は、全て個別接種となり、1度に2種類以上の接種を行う同時接種も行われています。接種当日は、遠くへの外出など赤ちゃんの体に負担が掛かることは避けましょう。また、発熱や下痢など体調が悪いときは受けられません。

▶接種方法 実施医療機関に予約



離乳食教室(要予約)

実施時期：【初期】4カ月～5カ月【中期】7カ月～8カ月【後期】9カ月～11カ月
月齢にあった離乳食の実物を見たり、食べたりすることができます。

▶場所 保健センター

▶内容 栄養士による講話と試食(赤ちゃん同士の交流もあります)



赤ちゃんクラス

実施時期：おおむね生後2カ月

健診や予防接種の受け方などこれからの予定を確認します。同じ時期に出産したお母さん同士の交流もできます。

▶内容 4カ月児健診の案内、予防接種の受け方、育児講話
体重測定(希望者)



妊娠届

届出時に赤ちゃんコンシェルジュ(助産師)が出産に向けた相談を行っています。

▶妊娠届の提出先 保健センター、市民課、南河原支所

母子健康手帳・妊婦健康診査

妊娠届を提出すると母子健康手帳と妊婦健康診査助成券が交付されます。母子健康手帳はお母さんと赤ちゃんの健康を守るための大切な記録。妊娠中や子育て期は常に携帯していると、外出先でもしものことがあっても安心です。成長の記録として、また小さな育児書としても活用できます。

1歳

生後6カ月

生後4カ月

生後2カ月

出産

妊娠期

4カ月児健診

※平成28年8月から個別健診になりました

実施時期：生後4カ月～7カ月未満

健診に行く前に、母子健康手帳を確認しましょう。気になったことや心配事は事前にメモしてから受診しましょう。

▶受診方法 市内指定医療機関に予約

指定医療機関一覧

名称	所在地	電話番号
行田総合病院附属行田クリニック	持田395-1	554-0005
行田中央総合病院	富士見町2-17-17	553-2000
さかつめ内科医院	城西1-6-22	553-5202
南川げんきクリニック	小見1400-1	554-8835

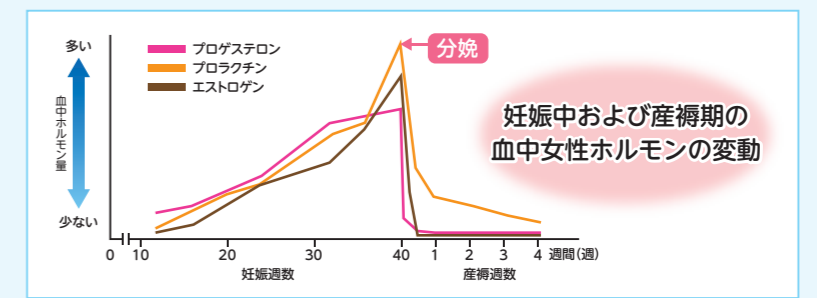
赤ちゃん訪問

実施時期：生後4カ月未満

赤ちゃんのいる家庭を助産師・保健師が訪問し、体重測定や育児の相談を行います。生活の変化による体調不良や赤ちゃんの世話の仕方、兄弟への対応など遠慮なく相談ください。

産後のホルモンの変化

産後は女性ホルモンが急激に低下するため、お母さんの心身に大きな負担が掛かります。



スマートフォンやタブレットは疑問をすぐに調べることができる反面、情報があふれているためかえって不安になることも多いようです。また、赤ちゃんの子守り代わりに使うことは、親子のコミュニケーションの時間を削ってしまい、言葉の発達や、友達との関係作りに影響があることが懸念されています。

スマートフォンやタブレット

虫歯予防

虫歯は、周囲の大人から感染することが分かってきました。赤ちゃんに虫歯菌を感染させないために、口移しで食べ物を与えることや、箸やスプーンを共有することは止めましょう。

食事

甘いお菓子やジュースは、食べ過ぎると食事のリズムが乱れ、虫歯や肥満の原因になってしまいます。時間と量を決めましょう。

食生活

20、30年前に比べ、食物アレルギーのお子さんが増加しています。医師と相談した治療方針を尊重しましょう。

事故防止

乗車中の乳幼児の事故防止のためチャイルドシート使用が義務付けられています。赤ちゃんの命を守るための習慣にしましょう。

うつせ寝

うつせ寝は、赤ちゃんが寝ているうちに急に亡くなってしまいう乳幼児突然死症候群(SIDS)との因果関係が解明されました。特別な理由がない限り赤ちゃんは仰向け寝で育てることが推奨されています。

赤ちゃんの世話

以前は、抱きぐせを心配する声もありましたが、今は抱っこすることで赤ちゃんは心も体もリラックスできるため、大切なスキンシップと考えられています。



医学の進歩や環境の変化により、ずいぶん変わってきています。

最近の育児事情